

哲學研究

第四十二卷 第十册

第四百九十二號

昭和三十九年九月一日發行

禪は美術に影響したか……………植田壽藏

神の意志……………山田晶

トマス三位一體論における

カントにおける自我の問題と
内官のパラドックスについて……芦田淑

書評 クワイン『ことばともの』……土屋純一

史學研究會

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會に賛助員若干名をおく
賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない
學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年一、五〇〇圓(會誌十二冊分を含む)を前納する
但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

湯本	武水	松藤	服部	蓮實	野田	長尾	常俊	辻村	棚瀬	田中	武内	高田	園原	島澤	重山	梶崎	柿野	上島	井田	石田			
幸良	一	義	令	正	重	又	雅	三	公	襄	知	義	三	太	芳	俊	雄	祐	照	義			
孫	治	雄	涉	海	夫	明	康	夫人	郎	一	爾	郎	範	郎	郎	夫	郎	一	一	夫	勉	仁	祐

京都哲学会公開講演会本告

日時 十月三十一日(土)午後一時半

場所 京都大学法経第七教室

- 一 心理学における「制止」の概念についての一考察……京都大学助教授 本吉良治
- 一 歴史における行為と反省……京都大学教授 島芳夫

(講演順)

☆ 右終了後楽友会館において懇談晩餐会を開きます。(会費約七〇〇円)

☆ 所属機関長宛出張許可依頼状御入用の方は京大文学部基督教学研究室まで御申出下さい。

前 号 目 次

有についでのカント のテーゼ(完)……………	ハ イ デ ッ ガ 一 訳
——形而上学的悪の問題——	
ライプニッツとベール……………	岩 坪 紹 夫
——断片集を中心として——	
アリストテレス初期断片集 におけるプラトン解釈……………	川 田 殖
西田哲学とホワイ トヘッド哲学……………	野 田 又 夫

次 号 論 文 予 告

形而上学的存在は必要か……………	ビ ー タ ー ・ ア ン ト ン
神の意志(完)……………	武 田 弘 道 訳
——トマス三位一体論における——	
ライプニッツの実体論の問題……………	山 田 晶
——神の創造におけるその基盤——	
ブルトマンとハイデッガ……………	辻 村 公 一
——信仰と思惟——	

京都哲学会公開講演会予告

日時 十月三十一日(土)午後一時半

場所 京都大学法経第七教室

- 一 心理学における「制止」の概念についての一考察……京都大学助教授 本吉良治
- 一 歴史における行為と反省……京都大学教授 島芳夫

(講演順)

☆ 右終了後楽友会館において懇談晩餐会を開きます。(会費約七〇〇円)

☆ 所属機関長宛出張許可依頼状御入用の方は京大文学部基督教教学研究室まで御申出下さい。

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年一、五〇〇圓又は半年七五〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社（振替口座東京九二四七二番 創文社）宛に願います
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい（一年分又は半年分）、會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附濟を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居・入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十九年八月三十日印刷
昭和三十九年九月一日發行

編集人

京 都 哲 學 會

京 都 大 學 文 學 部 内

編集代表

常 俊 宗 三 郎

發行人

久 保 井 理 津 男

印刷人

堀 内 文 治 郎

印刷所

堀 内 印 刷 所

京 都 神 田 三 崎 町 二 一 六

發 行 所

株 式 會 社

創 文 社

東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二

振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番

電 話 九 ノ 内 〇 四 〇 〇 八 番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價一五〇圓、送料・四〇圓）前金にてお送り下さい

昭和三十三年八月三十日印刷
（毎月一回發行）

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLII

September, 1964

No. 10

*Hat überhaupt das ‚Zen‘ Einfluss auf die
schönen Künste ausgeübt?* Juzô Ueda

*The Will of God the Father in begetting His
Son according to the interpretation of
St. Thomas Aquinas.....* Akira Yamada

*Problem des Ich und Paradoxie des
inneren Sinnes bei Kant.....* Kiyoshi Ashida

Bookreview

*Willard van Orman Quine's
“Word and Object” by Junichi Tsuchiya*

Published Monthly

by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定價
一五〇圓

IBM 6427